

ネイチャーウォッチングだより

令和4年8月23日(火)

愛知教育文化振興会

協力:岡崎女子大学・短期大学

夏休みも終盤に入った8月20日(土)、B日程の第1回ネイチャーウォッチング「川の生き物調べ」を開催しました。「川にすむ生き物に詳しくなり、実際に川の生き物の採集体験をする」ことを目的として行いました。会場は岡崎市ホテル学校で、旧鳥川(とっかわ)小学校を活用した施設です。幸い天候に恵まれ、27組の親子合わせて82名が参加し、予定通り実施することができました。



田中先生のお話の様子

講師として川の生き物についてのお話をしてくださったのは、岡崎市立河合中学校の田中啓之先生です。この会のために、カワムツやオイカワ、カマツカなどの魚類や、絶滅危惧種のタガメ、コオイムシなどの水生昆虫を水槽に用意してくださいました。受付を済ませると、さっそく水槽の中の生き物に見入る子もいて、意識の高さを感じます。

田中先生からは、東海地方の川で見られる魚や水生昆虫などを写真で紹介されました。メダカに似たカダヤシやアメリカザリガニなどの外来種が増えたことで、もともと日本にすむ生き物が影響を受けているというお話は、自然環境を保護することの意味や大切さを考えさせてくれます。

続いて、いよいよ川での生き物採集です。ホテル学校のすぐ横を流れている鳥川に入り、親子で採集と観察を行いました。川幅は3~4m、水深も足首から膝くらいまで、子どもたちが活動しやすい川です。網を手に探し始めると、さっそくサワガニやいろいろな種類のヤゴが採集でき、喜びの声があちこちから聞こえました。ゲンジボタルの幼虫やたくさんの赤ちゃんガニを抱いたサワガニ、アカザという珍しい魚など、大発見が続きました。

「ネイチャーウォッチング」が大事にしているのは、「親子で楽しむ」ことです。この企画が親子で自然体験を一緒に始めるきっかけとなればよいなと考えています。



鳥川の生き物を探す皆さん



いろいろな種類のヤゴがいた！



ホテル学校の展示を見学する親子も！



「川の生き物調べ」に参加された親子の皆さん

▽アンケートから感想を一部紹介します。

◆子どもがとても興味をもち小さな生き物に触れていて、嬉しく思いました。貴重な機会を作っていただきありがとうございました(父)。

◆川で短時間にこんなにもたくさんの貝や魚、カニ、ヤゴが見つけれられるなんてビックリしました。楽しかったです(子)。

◆川の生き物がたくさん捕れて楽しかったです(子)。

◆子どもと生き物捕りをする機会があまりないので良い体験でした。楽しく取り組ませて頂きました。ありがとうございます(父)。